

新潟市味方児童館指定管理者事業計画の比較(上位2者)

南区役所健康福祉課

項目	特定非営利活動法人ワーカーズコープ(選定者)	次 点
1. 事業者の概要	設立 H13. 9. 13 資本金 14 億円 売上高 10,745,664 千円 (28 年 3 月末) 従業員数 正職員 1,361 名, 臨時・パート職員 1,673 名 事業内容 介護サービス事業及び高齢者福祉サービス事業 子育て支援に関する事業 公共施設の管理・運営事業 障がい(児)者福祉サービス事業 他 施設管理実績(指定管理者) 新潟市内 白根児童センター(19年9月～), 味方児童館(21年4月～), 白根北児童館(24年2月～), 白根南児童館(27年3月～), 亀田東児童館(20年4月～), 白根健康福祉センター(25年1月～)	設立 H25. 3. 1 資本金 12,000 千円 売上高 29,448 千円 (28 年 2 月末) 従業員数 正職員 3 名, 臨時・パート職員 10 名 事業内容 スポーツ教室事業 外部指導事業 スポーツ家庭教師事業 施設管理実績 類似業務の運営実績 新潟シティマラソン託児所運営(26年, 27年) 親子ふれあいマラソン託児所運営(27年)
2. 基本方針 (1)応募した動機 (2)運営の理念及び基本方針 (3)運営の具体的な考え方・内容	(1) 新潟市の子育て環境の充実に貢献したいと考え、応募した。 (2) ①当事者主体 ②よい仕事 ③まちづくり ④地域共生を大切に、味方児童館を安心して過ごせる地域の居場所にし、事業内容を発展させていく。 (3) 子どもたちの自主性、主体性を育むことを中心に捉えて、①子どもたちの成長への貢献、②親の子育て支援への貢献、③地域のまちづくりへの貢献の「3つの貢献」を大切にする。	(1) 弊社の目的・経営理念に合致。子どもの健全なる育成への危機感。公共施設の管理運営の専門性を発揮したいと考えた。 (2) 安心で快適な空間の提供、子ども一人ひとりの人格を尊重した育成支援。自主性、社会性、創造性の向上と生活習慣の確立。保護者との密な関係を作る。サービス、利便性の向上による満足度の向上。公の施設として安全、安心で誰にも平等な施設運営を行う。 (3) 地域と共に歩む開かれた施設づくり。視野を広げ、様々なニーズに対応し、地域の発展・コミュニティの場へ貢献する。
3. 運営組織 (1)職員数, 資格 (2)勤務体制 (3)人材確保等	(1) 施設長 1 名, 児童厚生員(常勤) 2 名, 児童厚生員(非常勤) 2 名の 5 名体制。児童厚生員・教諭・保育士の資格を有し、常勤者(施設長含む)は、児童厚生施設などで常勤経験が 2 年以上あるものを 2 名以上配置する。 (2) 常勤者と非常勤者が効率よくローテーションシフトを組みながら、「利用者の安全」を最優先する。 (3) 子どもに向き合う姿勢や情熱があり、かつ様々な技能を持つ人材を確保する。研修にも積極的に参加し、専門性の質を高めていく。	(1) 規準書に定められている配置要件との整合性を確保していることを市と事前協議のうえ、安全・安心な施設運営が行える職員数を決定する。 (2) 地元人材を優先雇用することで、地域に密着した施設運営を実現する。関係法令に適合した雇用・労働条件に加え、適正な人員を確保。 (3) 地域活性化を主眼とした地元人材優先雇用体制と安定して継続性のある人材を確保する。専門性の高い人材を確保する。生きがいのある就業環境の実現。研修制度の充実。
4. 事業計画 (1)子どもの発達段階に応じた健全育成事業等に対する考え方・内容 (2)児童館と当該地域等との交流・連携事業に対する考え方・内容 (3)地域における子育て支援事業に対する考え方・内容 (4)児童館の利用促進に対する考え方 (5)要望・苦情に対する対応方針・方法	(1) 子どもたちを「育てる対象」として捉えるのではなく、子どもたち自身を「育つ主体者」として位置づけ、関わっていく。各年代に合わせた指導、活動に取り組む。 (2) 地域活動やコミュニティ協議会の行事に積極的に参加することで、地域のあらゆる方と連携できるような仕組み作りを大切にする。 (3) 地域の各関係機関と連絡を取りながら、地域で子どもたちの成長を安全に見守り、子育てを支え合う関係を築く。 (4) 『移動児童館』を開催しながら周知を図り、児童館まで足を運んでもらう。誰でも入りやすく、参加しやすい雰囲気づくりを大切にする。 (5) 要望・苦情には、誠意を持って迅速に対応する。また、定期的にアンケート調査を行い、利用者のニーズ把握に努める。	(1) 子どもたちの健全な育成と遊び及び生活を支援する場であることを十分理解し、子どもの発達に則した遊びと活動ができる環境を用意する。自主性、社会性、創造性を育む場所を提供する。 (2) 他児童館やひまわりクラブ、ふれあいスクールでのスポーツイベント、親子イベントなどの共同事業を開催する。地域行事へ参加し、近隣住民を招いた懇親会、健康運動教室などのイベントを開催する。 (3) 子育て中の人や子育て経験者が身近に集まれる場や仕組みを提供する。子どもの主体的な活動を育成・支援するために、地域の団体等と連携する。学校・地域教育コーディネーターと連携する。 (4) 指定管理者だけの広報ではなく、行政、学校、企業、団体、地域社会と連携した広報活動を行う。 (5) 子どもたちを第一と考え、満足していただけることを常に考え、保護者とスタッフがコミュニケーションを図れる良い関係・雰囲気を作り出し、保護者からの問い合わせや苦情への対応をスムーズに行える体制を実現する。
5. 危機管理, 施設維持管理 (1)事故・防災対策 (2)緊急時の対応 (3)個人情報保護 (4)施設管理 (5)ごみ減量, 省エネ対策	(1) 事故防止の取り組みを日常業務から注意をはらい、職員間で徹底する。 (2) 『危機管理マニュアル』に則り、職員は慌てず落ち着いて対応する。職員は救急法の知識や技術も学んでいる。 (3) 『個人情報保護法』及び『新潟市個人情報保護条例』の規定を遵守し、さらにグループとして策定している『個人情報保護方針』、法人としての『個人情報保護規定』に則って個人情報の保護に努める。 (4) 建物の維持、設備機能の維持補修、機能保全、安全の確保に立脚した維持管理を行う。 (5) 資源の再利用を心がけ、ゴミの分別、リサイクルを徹底する。グリーンカーテンを設置するなど、エアコンの適正温度設定を工夫し、エネルギー削減に努める。	(1) すべてのスタッフが危機管理に対して高いレベルの共通認識を持ち誰が緊急事態に遭遇しても万全な対処ができる体制を実現する。 (2) 危機管理体制の構築。避難所までの誘導。 (3) 個人データの流出、漏洩、紛失、改ざん等を防ぐことを安全管理の特に重要なポイントとし、適切かつ確実に個人情報を保護する。 ○組織的安全管理, ○人的安全管理, ○物理的安全管理, ○技術的安全管理 (4) すべての子どもたちへ公平で適切な対応ができる体制を整備する。 (5) 「環境に配慮した管理経費の縮減」、「自主事業収入の一部を還元」の考え方をベースにムリ・ムダ・ムラのない実現可能な縮減策を実施する。
6. 収支計画(平成29年度分) (1)設定内容 (2)経費削減の工夫	(1) 収入：指定管理料 16,272 千円 支出：人件費 10,546 千円 管理運営費 5,726 千円 計 16,272 千円 (2) 新潟市が運用する環境マネジメントシステムに則し、環境活動に取り組む。	(1) 収入：指定管理料 16,272 千円 支出：人件費 13,494 千円 管理運営費 2,633 千円 計 16,127 千円 (2) コスト削減と地球環境にやさしいエコロジカルな施設づくりを目指す。